

城都建第713号
平成20年10月29日

国土交通省道路局長 様

城南町長 八 幡 紀 雄



今後の道路行政についての意見・提案について（提出）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼がありましたこのことについて、
別紙のとおり提出します。

担当者氏名 都市建設課 管理係長 奥田英男
電話番号 0964-28-3111 内線 241
FAX 0964-28-7010

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

熊本県城南町

本町の道路網は、熊本市と県南地区を結ぶ南北の広域幹線道路（国道・県道）、町内や近隣市町の移動を円滑にする生活幹線道路及び集落内の生活道路（市町村道）で構成されています。

市町村道については、毎日の生活に密接した道路であり、重要な役割を果たしています。しかしながら、改良率は低く、整備率が上がらない状況です。道路整備の予算は、全国的な財政状況の悪化により、毎年減少しており、将来の道路行政についての維持管理についても、懸念しております。

平成21年から、道路特定財源は、一般財源化されることになりましたが、地方道路整備の必要性や厳しい財政の実態に鑑み、地方の道路整備や維持補修を着実にを行うための財源確保や実施する制度の確立を要望します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式②

②－１ 地域の現状と抱える課題

熊本県城南町

○現状

城南町は熊本市中心部への主要アクセス道として、国道２６６号及び開通予定である県道木原田迎線があり、町はもとより宇城市をはじめ県南と熊本市を結ぶ交通の要衝となっています。

幹線道路においては、近年のモータリゼーションの進展と町内人口の増加により交通量が増加傾向にあります。特に熊本市へのアクセス道路である南北の広域幹線道路は、交通渋滞が著しく、嘉島町に郊外型大型店舗が進出したことにより国道２６６号（著町橋付近）における渋滞は深刻な状況にあります。緑川に架かる著町橋付近の慢性的な交通渋滞の解消が望まれており、県道田迎木原線が開通することにより、交通量の分散化が図られ、交通の利便性も高まると思われますが、主要地方道小川嘉島線の整備を促進し市東部方面への利便性の向上を図る必要があります。

生活道路においては、町道の改良工事を計画的に実施していますが、集落の中では、その現状から簡単には改善が進みにくい状況です。住民の利便性向上のためにも着実な事業推進が求められている。

○課題

城南町の町道延長は、約２７６ｋｍあるが、その改良率は５４．２％と低く、地域の生活基盤の強化、良好な生活環境の確保等を進めるうえで大きな障害となっている。このため、地域住民の道路整備に対する要望は強い。地域からの要望だけでも約１００件、事業費約１２億円の整備要があり、計画的に実施するには、財政的な問題が大きな課題となっている。補助事業、交付金事業、起債事業等を活用する予定ですが、交付金事業の県への減、起債額の限度、公債費比率の向上など、計画的に整備が可能なのか懸念しております。

道路整備率の向上は、住民生活の利便性の向上につながります。そのために、地方自治体への補助率の改善と道路維持事業についての補助事業等の新規制度を含めた改善を要望します。